



2022年2月3日

各 位

会 社 名 株式会社 セキド
 代表者名 代表取締役社長 関戸 正実
 (コード番号 9878 東証第二部)
 問合せ先 取締役執行役員管理部長 弓削 英昭
 (TEL. 03-6300-6335)

2022年3月期通期業績予想の上方修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年12月28日に公表した2022年3月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2022年3月期連結業績予想数値の修正 (2021年3月21日～2022年3月20日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,500	216	170	354	174.69
今回修正予想(B)	7,600	267	223	414	204.00
増減額(B-A)	100	51	53	60	
増減率(%)	1.3	23.6	31.2	16.9	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	—	—	—	—	—

2022年3月期個別業績予想数値の修正 (2021年3月21日～2022年3月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,662	131	89	298	147.06
今回修正予想(B)	6,720	173	133	352	173.45
増減額(B-A)	58	42	44	54	
増減率(%)	0.9	32.1	49.4	18.1	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	6,773	180	130	117	61.20

修正の理由

2022年3月期通期(2021年3月21日～2022年3月20日)の連結及び個別の業績につきましては、売上高は前回予想の後、店舗販売事業での年末年始商戦が好調に推移したこと、連結子会社であるMEDIHEAL JAPAN株式会社の一部卸先店舗での取扱いアイテムの増加が決まったことなどにより、連結ベースで100百万円程度、前回予想を上回る見込みであります。

一方、利益面では、好調な美容事業と新業態店舗の売上構成比のアップによる利益率の向上に加え、店舗販売事業の最需期における販売管理費の抑制が功を奏し、連結、個別とも営業利益、経常利益、当期純利益は前回予想を上回る見込みとなりましたので上方修正いたします。

以 上

※本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。